

# 西海地区 地域づくりプラン

～生かそう自然、創ろう笑顔、めざそう活力のある西海～

「地域づくりプラン」は、

西海地区の年代性別を超えた数十名の仲間が集まり、

**西海地区の将来について考えた活動計画書**です。

子どもや孫たちのためにも、みんなで魅力ある西海地区を築きましょう。



平成29年3月  
西海地区自治振興協議会

## 目 次

|   |                          |    |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 地域づくりプラン策定の趣旨 .....      | 3  |
| 2 | 地域づくり活動の理念と計画期間 .....    | 3  |
| 3 | 西海地区の現状と課題 .....         | 4  |
| 4 | 地域づくり活動の理念、方針及び方策 .....  | 4  |
| 5 | 地域づくりプランのイメージ図 .....     | 5  |
| 6 | 取組む活動（方策） .....          | 8  |
|   | 活動内容①【全体交流の場づくり事業】 ..... | 8  |
|   | 活動内容②【女性交流の場づくり事業】 ..... | 9  |
|   | 活動内容③【若者交流の場づくり事業】 ..... | 10 |
|   | 活動内容④【組織や行事の見直し事業】 ..... | 10 |
|   | 全体活動【資源物回収事業】 .....      | 10 |
| 7 | 収支予算計画（5か年） .....        | 11 |
| 8 | 活動推進体制 .....             | 11 |

## 西海地区の位置図



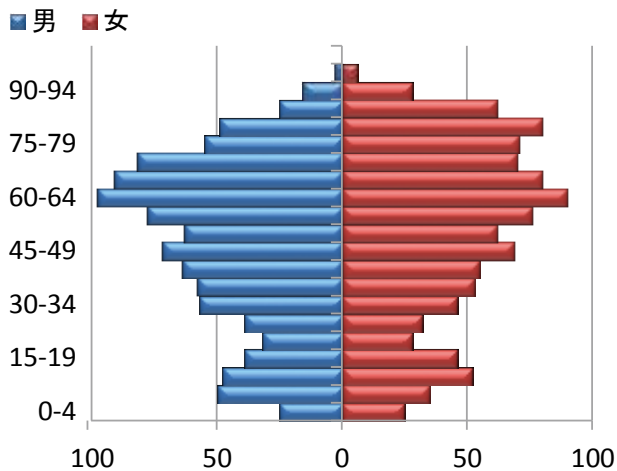
## 西海地区の概要

(H28.4.1現在)

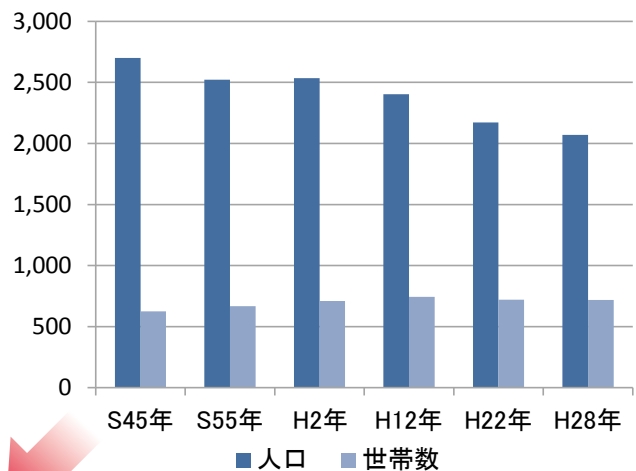
◆人口 2,110人  
◆世帯数 793戸  
◆高齢化率 34.03%  
◆集落数 18

◆集落名 平牛、羽生、北山、水保、成沢、稲坂、  
真光寺、井沢、田中、川島、中条、道平、  
釜沢、真木、栗倉、来海沢、市野々、  
御前山

西海地区人口ピラミッドグラフ  
(H28.4.1現在)



西海地区の人口と世帯数の推移  
(各年10.1現在)



| 年          | 人口(人) | 世帯数 | 世の中の主な出来事など                             |
|------------|-------|-----|-----------------------------------------|
| S45 (1970) | 2,701 | 625 | 日本万国博覧会(大阪万博)、日本航空機よど号ハイジャック事件          |
| S55 (1980) | 2,523 | 667 | 王貞治・山口百恵引退、任天堂「ゲーム&ウオッチ」発売              |
| H2 (1990)  | 2,534 | 710 | ちびまる子ちゃん放送開始、バブル経済崩壊                    |
| H12 (2000) | 2,403 | 743 | 介護保険法施行、IT革命、新紙幣2000円札発行、BSデジタル放送開始     |
| H22 (2010) | 2,173 | 720 | 子ども手当支給、バンクーバー冬季オリンピック、口蹄疫流行            |
| H28 (2016) | 2,071 | 718 | マイナンバー制度利用開始、SMAP解散、18歳選挙権施行、糸魚川市駅北大火発生 |

## 地域づくりプラン策定の経過

平成28年 2月～3月 県事業「地域の話し合い促進事業」2回実施  
 7月 地域づくりプラン策定委員会発足  
 8月 西海地区資源巡り(12か所)  
 11月 交流広場in西海 ～地料理「こくしょ」食べまい会～開催  
 12月 地域づくり先進地視察(村上市)  
 平成29年 3月 地域づくりプラン完成  
 策定委員会開催回数 7回

## 1 地域づくりプラン策定の趣旨

西海地区では、県の「地域の話し合い促進事業」による意見交換会を2回実施する中で、現状には困っていないものの、「将来を考えると不安感がある」「住民同士による話し合いの場が必要である」といった意見が明確となりました。それを受け、継続して話し合いを進め、住民主体による自立と協働の地域づくりを目指し、地域づくりプラン(以下「プラン」という。)の策定に取り組みました。

プランの策定は、平成28年7月に西海地区自治振興協議会を母体とした「西海地区地域づくりプラン策定委員会」を設立し、9か月、7回の策定委員会を経て、西海地区の目指すべき方向を検討してきました。



プラン策定委員会



西海地区資源巡り



先進地視察（村上市）

## 2 地域づくり活動の理念と計画期間

プランを実現するためには、これまでのような一部の人間だけに任せた地域づくりではなく、住民全員が地域への関心や愛着を深め、受け身ではなく自発的に行動するための意識改革が必要となります。まずは住民同士の交流を促す取組みを行いながら、西海地区の一体感を育み、老若男女が互いに楽しく活動できることを目指します。

計画期間は、平成29年度から平成33年度までとしました。

### 3 西海地区の現状と課題

まずは、西海地区の現状と課題について、策定委員会で検討を行いました。

| ◎好ましい現状【強み】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ▼気になる現状【弱み】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>豊かな自然を活用して人が集まってきており、人が結びついて新たな交流も生まれつつある</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●昔からの行事に人が集まっている</li> <li>●海谷まつりに人が集まるようになってきた</li> <li>●地域コミュニティ団体が機能している</li> <li>●公民館事業では子供も楽しんでいる</li> <li>●人柄が良い</li> <li>●人と人との距離が小さい</li> <li>●豊かな自然に恵まれている</li> <li>●自然景観がすばらしい</li> <li>●自然を楽しめるメニューがたくさんある</li> <li>●新鮮でおいしいものがある</li> <li>●他地区からの移住もあり若者も増えている</li> <li>●優れた農業従事者がいる</li> </ul> | <p><b>西海の地域づくりを一部の人間だけに任せており、人材を含めた地域資源が有効に活かされていない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●若者の地域に対する関心が低い</li> <li>●女性が会合に行きづらい</li> <li>●話し合う機会と場所が少ない</li> <li>●子どもの地域への愛着が足りない</li> <li>●空き家が今後ますます増える</li> <li>●役員の負担が増えている</li> <li>●地域資源が十分に生かされていない</li> <li>●公共交通（バス）が不便である（しかし、それほど不自由していない）</li> </ul> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●若者に任せる意識がもっとあっていい</li> <li>●若者の意識調査を行う必要がある</li> <li>●世代をつなぐ「キーマン」が必要（移住者に可能性あり）</li> <li>●地区の行事や組織の在り方を見直す必要がある</li> </ul> |

### 4 地域づくり活動の理念、方針及び方策

現状と課題を基に、西海地区が目指すべき「5つの方向性（方針）」を導き出しました。その方針に基づき「地域づくり活動の理念」と「キャッチフレーズ（将来像）」を定め、理念に沿った「6つの活動提案」を行いました。そして最終的に、活動提案を実現するための「4つの取組む活動（方策）」を定めました。

その際に、「話し合うだけでなく、まずやってみよう！」ということから、交流の場創設のプレ開催として、郷土料理を活用した年齢性別を超えた交流会「交流広場in西海 ～地料理「こくしょ」食べまい会～」を開催し、「話し合い」と「実行」のバランスの重要性を学ぶことができました。

#### 交流広場in西海 ～地料理「こくしょ」食べまい会～



みんなで準備



意見交換

## 5 地域づくりプランのイメージ図

糸魚川市総合計画後期基本計画  
西海地区 地域づくりビジョン

『豊富な観光資源をいかした交流とふれあいの地区』

◆5つの方針（活動の方向性）から生まれた理念とキャッチフレーズ（将来像）

- 1 地域内外の交流や結びつきを盛んにしたい
- 2 西海ならではの特産品を作り、地域に誇りを持ちたい
- 3 若い人が住み続けられる環境を作り、子どもたちに故郷を残したい

地域づくり活動の理念

私たちは積極的な交流を通じて地域の活性化を図り、  
未来の子供たちのために自然豊かな西海を創ります

キャッチフレーズ（将来像）

生かそう自然、創ろう笑顔、めざそう活力のある西海

- 4 地域に暮らす全ての人が自発的に動く環境を作りたい
- 5 西海の自然や人のやさしさを守っていききたい

◆気になる現状（弱み）と6つの活動提案



## ◆6つの活動提案

| テーマ                  | 活 動 内 容                                                                                                                                                                                                |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)地域資源を有効活用する       | <b>I【ステップアップ型西海ツアーの企画・運営】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のイベントをツアー化する</li> <li>・地域資源の調査とツアーガイドを養成する</li> </ul>                                                                          |
| (2)地域住民が話し合える場を創設する  | <b>II【西海ビアガーデン&amp;カフェの創設】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西海地区公民館前に仮設テントなどを張り、地域の行事と絡めてお酒が飲めておしゃべりができる場を設ける</li> <li>・笹ずし、ぎんぶき、ニジマス塩焼き、地鶏やきとりなどの特産品販売コーナーを設けて、賑わいと利益を出す仕組みをつくる</li> </ul> |
| (3)女性の参画の場を増やす       | <b>III【西海の郷土料理の伝承】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西海の郷土料理（こくしよ、笹ずしなど）を先輩主婦から若い主婦に伝承する</li> <li>・ポイントは「習い」→「食する」→「食べさせる」</li> </ul>                                                        |
| (4)子どもや若者に地域に関心を持たせる | <b>IV【地域の子どもや若者のための地域体験活動】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや若者を集めて、西海の資源を活用したアウトドア、伝統芸能、消防団、農業などの体験活動を行う</li> <li>・ターゲットは「小学生」 中高生では遅い</li> </ul>                                       |
| (5)組織や行事を見直す         | <b>V【既存組織の見直し】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会、公民館、住みよい西海をつくる会の可能などから合併を進め、意思決定機関と活動部に整理する</li> <li>・既存の行事が本当に必要なものか再検討し、統合・廃止といった「行事の棚卸し」を行う</li> </ul>                               |
| (6)地域を元気にする          | <b>VI【郷土料理を食べて巡ってまると西海】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区集会場や空き家等で郷土料理を「作る、食べる、売る」ことができる予約制複合型の食事会+西海巡りツアー</li> </ul>                                                                    |

でも、いきなりは難しい。まずは住民が気軽に集まって、楽しく話せる「**交流の場**」をつくる！

その対話から行動が始まる！  
**「対話」と「行動」**の同時進行！

**「組織や行事の見直し」**にも積極的に取り組む！



◆交流→対話→行動のイメージ図



◆4つの取組む活動（方策）

## 新しい地域内交流の場づくり

### ①全体交流の場づくり事業

- テーマ(1) 地域資源を有効活用する
- テーマ(2) 地域住民が話し合える場を創設する
- テーマ(4) 子どもや若者に地域に関心を持たせる
- テーマ(6) 地域を元気にする

### ②女性交流の場づくり事業

- テーマ(3) 女性の参画の場を増やす

### ③若者交流の場づくり事業

- テーマ(2) 地域住民が話し合える場を創設する

### ④組織や行事の見直し事業

- テーマ(5) 組織や行事を見直す

## 6 取組む活動（方策）

### 活動内容①

#### 全体交流の場づくり事業

- テーマ(1) 地域資源の有効活用
- テーマ(2) 地域住民が話し合える場を創設する
- テーマ(4) 子どもや若者に地域に関心を持たせる
- テーマ(6) 地域を元気にする



### 目指す活動

- ・ I 【ステップアップ型西海ツアーの企画・運営】
- ・ II 【西海ビアガーデン&カフェの創設】
- ・ IV 【地域の子どもや若者のための地域体験活動】
- ・ VI 【郷土料理を食べて巡ってまると西海】



### 活動概要

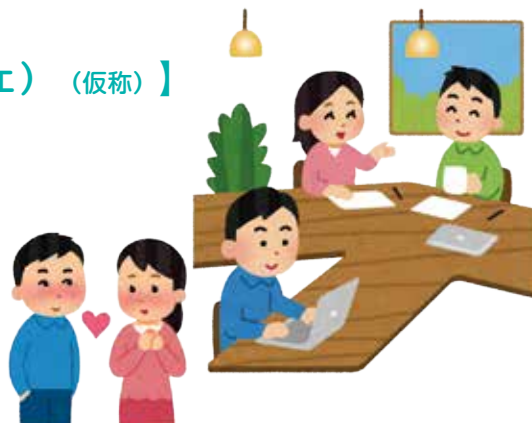
#### ◆其の壹 【行事・イベント型】

- ・ 既存の行事を見直す中で、体験イベント（わら細工、郷土料理等）や西海を知るイベント（文化、歴史、話合い等）やにいがた地鶏（ワークセンターにしうみ）を活用したイベントを開催する⇔「組織や行事の見直し事業」と連携
- ・ 地域資源を再調査し、標識や看板を整備するとともに、ガイドを養成し、観光に結び付ける
- ・ 子どものイベントを増やす⇒地域への関心が高まる、親や祖父母が参加する



#### ◆其の貳 【サイカイCafe（SAIKAIカフェ）（仮称）】

- ・ 誰でも気軽に集まれる場をつくる
- ・ 最初は「西海地区公民館」の一室を貸し切って
- ・ 開催頻度はできるだけ多く、できれば毎週開催
- ・ 週ごとにジャンル（対象者）を変えるのもあり
- ・ 飲食物は持ち寄って気軽に参加
- ・ 出会い♡の場としても期待したい
- ・ 若者が主体となって情報発信する
- ・ P T Aや保育園のママ友や消防団員（昔の青年団的存在）に呼びかける
- ・ 若者中心（10～50歳代）だが、年配者と若者みんなで開催する



## 活動内容②

# 女性交流の場づくり事業

テーマ(3) 女性の参画の場を増やす

## 目指す活動

### Ⅲ【西海の郷土料理の伝承】

## 活動概要

- ・まずは年代別にアンケートやヒアリングを行い、住民の意向を調査する
- ・年代別に交流の場を設ける
- ・茶話会的な気楽な会としてスタート
- ・40歳以下＝ヤングの会 ※以下、ネーミングは仮称
- ・41歳～65歳＝ナイスミドルの会
- ・66歳以上＝マダムの会
- ・それぞれの会同士が時々交流して、各世代のノウハウ交換を行う
- ・当面は「西海地区公民館」で各世代ごとの交流の場を設置するが、将来的には空き家利用等も検討



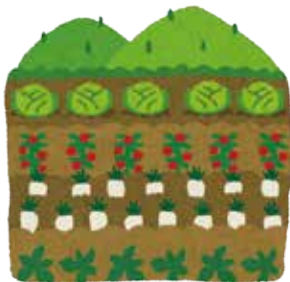
### ◆各世代のノウハウ交換

- ・マダムの会がナイスミドルやヤングの会に郷土料理を教える
- ・ナイスミドルの会がヤングの会に子育てのノウハウを教える
- ・ヤングの会がマダムやナイスミドルの会に今どきの流行を教える



### ◆休耕田の活用による交流

- ・休耕田などを活用して親子で楽しく畑体験
- ・秋には収穫祭。フリーマーケットや野菜の直売も
- ・いずれは「軽トラ市」や「畑オーナー制度」をスタート



### 活動内容③

## 若者交流の場づくり事業

テーマ(2) 地域住民が話し合える場を創設する

### 目指す活動

- ・Ⅱ【西海ビアガーデン&カフェの創設】

### 活動概要

- ・西海農村公園駐車場にコンテナハウスを設置して、気軽に立ち寄れるカフェをオープンする
- ・海谷山塊や少年野球を眺めながらのコーヒータイム
- ・いずれは昼食（西海野菜カレー、ピザなど）や野菜直売所、フリーマーケット、ワークショップ（木工クラフトなど）を有料で提供する
- ・スタッフは有志、交代制（いずれはバイト代も出す）
- ・最初は5月～10月の土日限定でスタート



### 活動内容④

## 組織や行事の見直し事業

テーマ(5) 組織や行事を見直す

### 目指す活動

- ・Ⅴ【既存組織の見直し】

### 活動概要

- ・住民意向調査  
（意見交換会の開催、アンケート調査）
- ・組織見直し委員会の設立
- ・既存行事の洗い出しと統合案の作成
- ・地域へのフィードバック（情報発信）
- ・SNS担当者・連絡員の設置



### 活動内容⑤【追加事業】

## 資源物回収事業

自己財源を確保する

### 活動概要

- ・地域づくりプランの実現に向けた自主財源を確保のため、アルミ缶回収を西海地区全体で取組む
- ・アルミ缶回収箱を数か所に設置して、誰もが取組める地域づくり活動の仕組みをつくり、協働意識の醸成を図る



## 7 収支予算計画（5 年）

各事業の収支に加え、資源物回収を地区全体で取組み、自主財源を確保します。市の地域づくり活動支援事業補助金が5年間で終了することから、個々の事業が独立採算を目指して活動していくことが必要となります。

【収入】

（単位：千円）

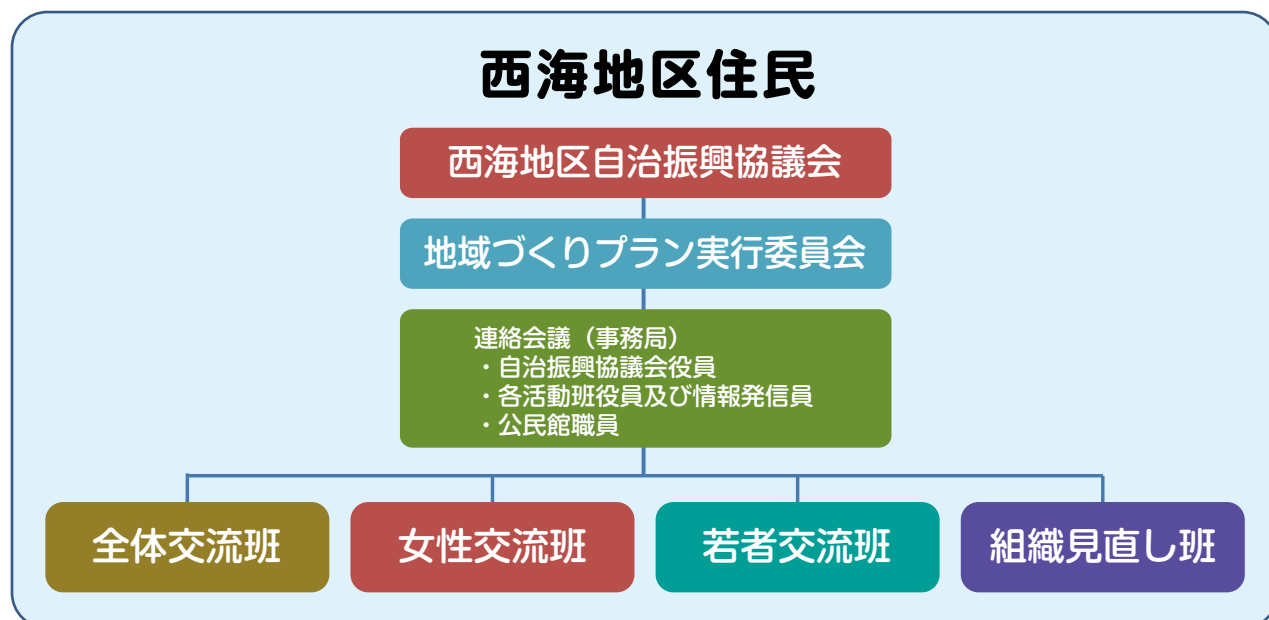
| 費 目            | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 合 計   |
|----------------|------|------|------|------|------|-------|
| 地域づくり活動支援事業補助金 | 833  | 833  | 833  | 833  | 833  | 4,165 |
| 自己資金（資源物回収等）   | 100  | 110  | 120  | 130  | 140  | 600   |
| 合 計            | 933  | 943  | 953  | 963  | 973  | 4,765 |

【支出】

（単位：千円）

| 費 目         | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 合 計   |
|-------------|------|------|------|------|------|-------|
| 全体交流の場づくり事業 | 170  | 420  | 210  | 290  | 295  | 1,385 |
| 女性交流の場づくり事業 | 170  | 190  | 440  | 290  | 295  | 1,385 |
| 若者交流の場づくり事業 | 400  | 190  | 210  | 290  | 295  | 1,385 |
| 組織や行事の見直し事業 | 50   | 50   | 50   | 50   | 50   | 250   |
| 資源物回収事業     | 143  | 93   | 43   | 43   | 38   | 360   |
| 合 計         | 933  | 943  | 953  | 963  | 973  | 4,765 |

## 8 活動推進体制



楽しく、つながろう、西海の輪！ 興味のある方は下記までご連絡を！

**事務局：西海地区公民館**

〒949-0044 糸魚川市大字水保1845

☎025-552-0268

✉ nishiko@bz04.plala.or.jp